



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.hovukai.org/>

第125号

発行:2016年9月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



～信頼される看護を実現するために～



新中川病院 看護部長 片桐 恵美子

連日、熱戦が繰り広げられたリオデジャネイロのオリンピックの日本選手の活躍は目覚しく史上最多のメダルを獲得した競技からたくさんの感動と勇気をいただきました。中でも陸上の400メートルリレーのチームプレーは圧巻でした。

新中川病院看護部チームの今日をご紹介します。

平成26年4月に着任してから一層看護部の理念と目標を明確な形で示して参りました。

「患者の安心・安全を看護の手で守り信頼を得る」の意図を構想して、看護部のイメージマークをつくりました。

このマークの効果は、看護職員はもとよりホームページを見て入職に繋がった方が10人以上となったことから病院と看護部のイメージアップに貢献できたのではないかと評価しています。

昨年11月に新中川病院は、病院機能評価機構の慢性期病院3rdG:Ver.1.0をはじめて受審しました。

今回の評価項目の特徴は、良質な医療の実践をケアプロセスの症例トレースと称して各職種がどのような関わり方(診療計画、看護計画、リハ計画、薬剤師、栄養士、相談室など)で個々の問題を他職種カンファレンスとの連携や情報の共有を図っているか?そのプロセスをサーベヤーが各職種に質問していくものです。

事前に、合同での練習をしていたので、初日は担当者から適切な回答を得ることができました。

2日目、看護部のアピールをどうぞ・・・と言われ「看護職員の教育研修と継続教育に力を入れ、各自のキャリアアップを目指していますので職員の定着率、仕事への満足度も高いです。」と根拠となるデータから説明し良い評価を得ました。

最後の総評では、看護研究に対する倫理委員会の仕組み、学会発表も高く評価されました。

また、この受審によって患者中心の医療・看護を目指すためにした努力は病院職員間の組織強化に繋がり風通しの良い職場環境へと改革できたのではないかと考えています。

次に、福田千文病院長は種々地域発信には協力を惜しまず看護部が取り組んでいる社会貢献事業の一部をご紹介します。

今秋から県立よこはま看護専門学校の学生40人が実習予定です。そして介護職員の喀痰吸引等実地研修において神奈川県協力病院である当院は、今年度既に十数名の研修生を受け入れていきます。指導者が13名いますので丁寧な実地研修を心がけて研修生には好評です。

看護の道に入ってから常に人を支え地域を支える気概を持ち続けてまいりました。全人的な思考で看護の視点も総合的なアセスメント力、行動力倫理観などの変革が求められています。

社会の中で期待される看護にさらに近づけるように、スタッフと共に知識・技術・判断力をつけてチーム力アップを目指したいと思っています。

新中川病院広報誌『SINNAKA STYLE』の紹介

新中川病院の広報誌『SINNAKA STYLE』（しんなか スタイル）をご紹介します。

新中川病院は「高齢者を支える病院として、高齢者が安心して暮らせる町づくりに努めます。」を病院理念とし、長年にわたり高齢者を中心とした病院として地域医療に携わっています。

地域の方をはじめ、より多くの方々に“新中川病院”を知っていただき、より身近なものに感じていただきたいという思いから、広報誌を発行しています。

記念すべき第1号を平成27年5月に発行、年に2回発行しています。今年の10月には第4号を発行します。

広報誌の内容は、明るいデザイン、優しさ表現で、楽しく解りやすい内容を心がけています。広報誌のタイトルは職員から公募し、厳正なる選考により『SINNAKA STYLE』が選ばれました。また、各号の表紙に使われている季節を感じさせる写真も職員からの提供によるものです。

『SINNAKA STYLE』と英文字を使ったタイトルからお解りのように、既存の病院広報誌とはひと味違った内容やデザインに仕上がっています。

第1号では、病棟での過ごし方の様子や、外でお花見をした事、映画の紹介など。

第2号では、職員の管理栄養士の1日（朝9時から夕方5時まで）の仕事の様子、リニューアルした2階トイレと談話室の紹介。

第3号では、看護師の教育研修の紹介、他施設からの実地研修や中学生の職業体験の受け入れの様子など。

今後も様々な内容を楽しくお届けしたいと思っております。

新中川病院ホームページに掲載中です。一度ご覧いただけると嬉しいです。

<http://www.hoyukai.org/shin-nakagawa/top.htm>

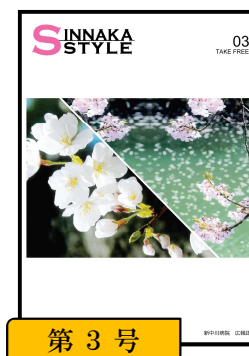
新中川病院 ホームページ広報委員会



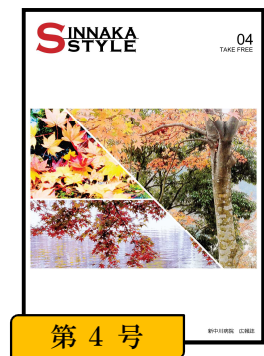
第1号



第2号



第3号



第4号

看護・介護関係者向けワークショップを開催します。

◆平成28年11月4日（金）19：00～21：00 参加費無料

横浜市旭区民文化センター サンハート（横浜市旭区二俣川1-3 二俣川ライフ5階）

【基調講演】 テーマ：【高齢者の終末期ケアについて】

講演1：『看護・介護の立場から』

講師： 社会福祉法人 育明会 特別養護老人ホーム レジデンシャル常盤台 施設長 高橋 好美

講演2：『医療の立場から』

講師： 医療法人社団 鵬友会 理事長 池島 秀明

【ディスカッション】 テーマ：【高齢者終末期の看護・介護・医療：多職種連携について】

司会： 医療法人社団 鵬友会 理事長 池島 秀明

講師： レジデンシャル常盤台 施設長 高橋 好美

新中川病院 院長 福田 千文

横浜ほうゆう病院 看護部長 原科 美津枝

【お申込み/お問い合わせ】

◆法人本部 上村 ☎ 045-810-0331